

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-6-11	事務事業名 かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及に向けた啓発	所管部課 保健福祉部健康推進課
---------------	-----------------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 「かかりつけ医及び歯科医」を持つことにより、日常的な診療のほか、病気の予防や健康管理の面でのアドバイス・相談ができるとともに、家族の病状・病歴・健康状態を把握しているので適切・早期に対応が可能である。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)健康づくりの推進 (主要施策)かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及
	実施内容、実施方法 医療マップを作成し、普及に向けた啓発を図る。 転入者及び予防接種等の手続に来庁された方等に積極的に医療マップの配布を行っている。	根拠法令等
事業開始時期 平成 14 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()		

評価指標の設定	活動指標名 医療マップ印刷部数	活動指標の考え方(定義) かかりつけ医・歯科医の周知人数
	成果指標名 配布部数	成果指標の考え方(定義) かかりつけ医・歯科医を持っている人数
	持っている割合	成人62.7% 歯科医53.9% 3歳児18.2%

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	500	500	500	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			500	500	500	
	所要人員(B)	人		0.03	0.03	0.03	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	248	250	250	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	748	750	750	
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (配布部数)	千円	0	0.15	0.13		
	歳入	千円	0	0	0	0	
	活動指標	目標値	部			7,000	5,000
		実績値	部		5,000	7,000	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	部			7,000	5,000	
	実績値	部		5,000	5,800		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等における類似事業	国・都・他市ともかかりつけ医・歯科医の普及に努めている。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 6-6-11	事務事業名 かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及に向けた啓発	所管部課 保健福祉部 健康推進課
---------------	-----------------------------------	---------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	平成13年度に行った市民アンケート調査によるとかかりつけ医を持っている割合は成人で62.7%、かかりつけ歯科医が成人で53.9%、3歳児で18.2%であった。このアンケート調査については、健康づくり推進プランの平成21年度以降見直し時期に併せてあらためて実施し、普及率を調査する予定である。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	家族ぐるみでの病気の予防や日常の健康管理のアドバイス、入院や検査が必要な場合の適切な病院・診療科目の指示・紹介をしてもらえる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	医療マップ(7,000部)・パンフレット(500部)の配布により効率よく事業が遂行した。また、平成17年度においては、市ホームページにPDF版の医療マップの掲載を予定している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	・かかりつけ医・歯科医の持っている割合を上げる。 ・寝たきりや障害などにより介護が必要な方など、自身で歯科医院に通院することが困難な方を対象に、西東京市歯科医療連携推進事業を行っており、さらにその充実に努めています。また、医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携を図りその普及に努める。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本の見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	・かかりつけ医・歯科医の普及に努める必要がある。 ・市民の日常的な健康管理を適切に支援していくためには、かかりつけ医・歯科医・薬局の必要性等を市民に周知するとともに、診療所(医師会)や歯科診療所(歯科医師会)、薬局(薬剤師会)に対してもかかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局に期待される役割などを説明し、協力・連携体制を図っていくことが必要である。

17年度における改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット(かかりつけ医をお持ちですか?16年度)を500部作成して、窓口・事業等にて配布。 ・医療マップを市ホームページに掲載する予定である。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本の見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本の見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。